

1 本会議審議経過

○平成14年10月18日（金）

開会 午前10時1分

日程第1 議席の指定

議長は、議員の議席を指定した。

議長は、新たに当選した議員信田邦雄君を議院に紹介した。

議員今井澄君逝去につき哀悼の件

本件は、議長は、すでに弔詞をささげた旨報告し、その弔詞を朗読した。次いで、阿部正俊君が哀悼の辞を述べた。

常任委員長辞任の件

本件は、次の各常任委員長の辞任を許可することに決した。

内閣委員長	佐藤 泰介君
財政金融委員長	山下 八洲夫君
国土交通委員長	北澤 俊美君
環境委員長	堀 利和君
国家基本政策委員長	広中 和歌子君
予算委員長	真鍋 賢二君

常任委員長の選挙

本選挙は、その手続を省略して議長の指名によることに決し、議長は、次のとおり各常任委員長を指名した。

内閣委員長	小川 敏夫君
財政金融委員長	柳田 稔君
国土交通委員長	藤井 俊男君
環境委員長	小宮山 洋子君
国家基本政策委員長	江田 五月君
予算委員長	陣内 孝雄君

特別委員会設置の件

本件は、議長発議により、

災害に関する諸問題を調査しその対策樹立に資するため委員20名から成る災害対策特別委員会、

沖縄及び北方問題に関する対策樹立に資するため委員20名から成る沖縄及び北方問題に関する特別委員会、

金融問題及び経済活性化に関する調査のため委員25名から成る金融問題及び経済活性化に関する特別委員会、

政治倫理の確立及び選挙制度に関する調査のため委員35名から成る政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会を設置することに全会一致をもって決し、

国会等の移転に関する調査のため委員20名から成る国会等の移転に関する特別委員会を設置することに決し、

議長は、特別委員を指名した。

休憩 午前10時23分

再開 午後3時1分

日程第2 会期の件

本件は、全会一致をもって57日間とすることに決した。

日程第3 国務大臣の演説に関する件

小泉内閣総理大臣は、所信について演説をした。

国務大臣の演説に対する質疑は、延期することに決した。

散会 午後3時17分

○平成14年10月22日（火）

開会 午前10時1分

日程第1 国務大臣の演説に関する件（第2日）

千葉景子君、青木幹雄君は、それぞれ質疑をした。

残余の質疑は、延期することに決した。

散会 午前11時43分

○平成14年10月23日（水）

開会 午前10時1分

日程第1 国務大臣の演説に関する件（第3日）

荒木清寛君、市田忠義君は、それぞれ質疑をした。

休憩 午前11時21分

再開 午後1時1分

休憩前に引き続き、松岡満壽男君、朝日俊弘君、月原茂皓君は、それぞれ質疑をした。

議長は、質疑が終了したことを告げた。

散会 午後2時25分

○平成14年11月1日（金）

開会 午前10時1分

議長は、新たに当選した議員椎名一保君を議院に紹介した後、同君を文教科学委員に指名した。

議長は、新たに当選した議員田村耕太郎君を議院に紹介した後、同君を財政金融委員に指名した。

日程第1 裁判官弾劾裁判所裁判員、同予備員、裁判官訴追委員及び同予備員辞任の件

本件は、裁判官弾劾裁判所裁判員野沢太三君、江田五月君、同予備員魚住裕一郎君、裁判官訴追委員加藤紀文君、小川敏夫君、同予備員島袋宗康君の辞任を許可することに決した。

裁判官弾劾裁判所裁判員等各種委員の選挙

本選挙は、その手続を省略して議長の指名によること及び裁判官弾劾裁判所裁判員予備員、裁判官訴追委員予備員の職務を行う順序は議長に一任することに決し、議長は、裁判官弾劾裁判所裁判員に真鍋賢二君、千葉景子君、同予備員に加藤修一君（第2順位）、

裁判官訴追委員に谷川秀善君、山下八洲夫君、
同予備員に西川きよし君（第4順位）、
検察官適格審査会委員に尾辻秀久君、
同予備委員に山下英利君（尾辻秀久君の予備委員）、
国土審議会委員に久世公堯君、
国土開発幹線自動車道建設会議委員に尾辻秀久君、松谷蒼一郎君を指名した。

散会 午前10時6分

○平成14年11月13日（水）

開会 午前10時1分

母子及び寡婦福祉法等の一部を改正する法律案（趣旨説明）

本件は、日程に追加し、坂口厚生労働大臣から趣旨説明があった後、谷博之君、井上美代君がそれぞれ質疑をした。

法科大学院の教育と司法試験等との連携等に関する法律案、司法試験法及び裁判所法の一部を改正する法律案及び学校教育法の一部を改正する法律案（趣旨説明）

本件は、日程に追加し、森山法務大臣、遠山文部科学大臣から順次趣旨説明があった後、鈴木寛君が質疑をした。

日程第1 社会保険労務士法の一部を改正する法律案（第154回国会衆議院提出）

本案は、厚生労働委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成225、反対0にて全会一致をもって可決された。

散会 午前11時35分

○平成14年11月15日（金）

開会 午前10時1分

国家公務員等の任命に関する件

本件は、押しボタン式投票をもって採決の結果、

国家公務員倫理審査会委員に得本輝人君、

情報公開審査会委員に松井茂記君、

中央労働委員会委員に山口浩一郎君、佐藤英善君、今野浩一郎君、椎谷正君、落合誠一君、渡辺章君、上村直子君、荒井史男君、山川隆一君、諏訪康雄君、曾田多賀君、岡部喜代子君、林紀子君、横溝正子君を任命することに、賛成218、反対0にて全会一致をもって同意することに決し、

国家公安委員会委員に大森政輔君を任命することに、賛成121、反対94にて同意することに決し、

中央労働委員会委員に若林之矩君を任命することに、賛成195、反対21にて同意することに決した。

知的財産基本法案（趣旨説明）

本件は、日程に追加し、平沼経済産業大臣から趣旨説明があった後、築瀬進君が質疑をした。

日程第1 警備業法の一部を改正する法律案（第154回国会内閣提出、第155回国会衆議院送付）

本案は、内閣委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成221、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第2 一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第3 特別職の職員の給与に関する法律及び2005年日本国際博覧会政府代表の設置に関する臨時措置法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

以上両案は、総務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、日程第2は賛成194、反対27にて可決、日程第3は賛成218、反対4にて可決された。

日程第4 中小企業信用保険法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第5 中小企業等が行う新たな事業活動の促進のための中小企業等協同組合法等の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

以上両案は、経済産業委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成224、反対0にて全会一致をもって可決された。

散会 午前10時53分

○平成14年11月20日（水）

開会 午前10時1分

議員久野恒一君逝去につき哀悼の件

本件は、議長からすでに弔詞をささげた旨報告し、その弔詞を朗読した。次いで、川橋幸子君が哀悼の辞を述べた。

独立行政法人国民生活センター法案、独立行政法人北方領土問題対策協会法案、平和祈念事業特別基金等に関する法律の一部を改正する法律案、独立行政法人通信総合研究所法の一部を改正する法律案、地方公務員災害補償法の一部を改正する法律案、独立行政法人国際協力機構法案、独立行政法人国際交流基金法案、電子情報処理組織による税関手続の特例等に関する法律の一部を改正する法律案、独立行政法人日本万国博覧会記念機構法案、放送大学学園法案、日本私立学校振興・共済事業団法の一部を改正する法律案、独立行政法人日本スポーツ振興センター法案、独立行政法人日本芸術文化振興会法案、独立行政法人科学技術振興機構法案、独立行政法人日本学術振興会法案、独立行政法人理化学研究所法案、独立行政法人宇宙航空研究開発機構法案、独立行政法人労働者健康福祉機構法案、独立行政法人福祉医療機構法案、独立行政法人労働政策研究・研修機構法案、独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園法案、中小企業退職金共済法の一部を改正する法律案、独立行政法人雇用・能力開発機構法案、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構法案、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法案、社会保険診療報酬支払基金法の一部を改正する法律案、独立行政法人農畜産業振興機構法案、独立行政法人農業者年金基金法案、独立行政法人農林漁業信用基金法案、独立行政法人農業技術研究機構法の一部を改正する法律案、独立行政法人緑資源機構法案、独立行政法人水産総合研究センター法の一部を改正する法律案、独立行政法人日本貿易振興機構法案、情報処理の促進に関する法律の一部を改正する法律案、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構法案、中小企業総合事業団法及び機械類信用保険法の廃止等に関

する法律案、独立行政法人中小企業基盤整備機構法案、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構法案、独立行政法人国際観光振興機構法案、独立行政法人水資源機構法案、日本下水道事業団法の一部を改正する法律案、日本勤労者住宅協会法の一部を改正する法律案、東京地下鉄株式会社法案、独立行政法人自動車事故対策機構法案、公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律の一部を改正する法律案及び海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律の一部を改正する法律案（趣旨説明）

本件は、日程に追加し、石原国務大臣から趣旨説明があった後、岡崎トミ子君、西山登紀子君、広野ただし君がそれぞれ質疑をした。

日程第1 裁判官の報酬等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第2 検察官の俸給等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

以上両案は、法務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成205、反対25にて可決された。

日程第3 防衛庁の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、外交防衛委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成205、反対25にて可決された。

日程第4 古物営業法の一部を改正する法律案（第154回国会内閣提出、第155回国会衆議院送付）

本案は、内閣委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成142、反対87にて可決された。

国会議員の歳費、旅費及び手当等に関する法律の一部を改正する法律案（衆議院提出）

国会議員の秘書の給与等に関する法律の一部を改正する法律案（衆議院提出）

以上両案は、日程に追加し、議院運営委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、第1の議案は賛成216、反対11にて可決、第2の議案は賛成203、反対23にて可決された。

散会 午後0時4分

○平成14年11月22日（金）

開会 午前10時1分

預金保険法及び金融機関等の更生手続の特例等に関する法律の一部を改正する法律案、金融機関等の組織再編成の促進に関する特別措置法案及び農水産業協同組合貯金保険法及び農水産業協同組合の再生手続の特例等に関する法律の一部を改正する法律案（趣旨説明）

本件は、日程に追加し、竹中金融担当大臣、大島農林水産大臣から順次趣旨説明があった後、円より子君、池田幹幸君、平野達男君がそれぞれ質疑をした。

構造改革特別区域法案（趣旨説明）

本件は、日程に追加し、鴻池国務大臣から趣旨説明があった後、佐藤泰介君、吉川春子君、島袋宗康君がそれぞれ質疑をした。

日程第1 銀行等の株式等の保有の制限等に関する法律の一部を改正する法律案（第154回国会衆議院提出）

本案は、財政金融委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成133、反対96にて可決された。

日程第2 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律案（第154回国会内閣提出）

日程第3 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律案（第154回国会内閣提出）

日程第4 電子署名に係る地方公共団体の認証業務に関する法律案（第154回国会内閣提出）

以上3案は、総務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成137、反対93にて可決された。

日程第5 母子及び寡婦福祉法等の一部を改正する法律案（第154回国会内閣提出、第155回国会衆議院送付）

本案は、厚生労働委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成191、反対39にて可決された。

日程第6 学校教育法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、文教科学委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成204、反対27にて可決された。

日程第7 有明海及び八代海を再生するための特別措置に関する法律案（衆議院提出）

本案は、農林水産委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成150、反対80にて可決された。

散会 午後0時44分

○平成14年11月27日（水）

開会 午前10時1分

憲仁親王殿下下葬去につき弔意を表する件

本件は、議長からすでに弔詞を奉呈した旨報告し、その弔詞を朗読した。

日程第1 郵便法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、総務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成233、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第2 独立行政法人農畜産業振興機構法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第3 独立行政法人農業者年金基金法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第4 独立行政法人農林漁業信用基金法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第5 独立行政法人農業技術研究機構法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第6 独立行政法人緑資源機構法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第7 独立行政法人水産総合研究センター法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

以上6案は、農林水産委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押し

ボタン式投票をもって採決の結果、日程第2及び第6は賛成145、反対89にて可決、日程第3及び第4は賛成202、反対31にて可決、日程第5は賛成143、反対91にて可決、日程第7は賛成199、反対34にて可決された。

日程第8 独立行政法人国民生活センター法案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、内閣委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成198、反対35にて可決された。

日程第9 電子情報処理組織による税関手続の特例等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第10 独立行政法人日本万国博覧会記念機構法案（内閣提出、衆議院送付）

以上両案は、財政金融委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、日程第9は賛成202、反対32にて可決、日程第10は賛成141、反対89にて可決された。

日程第11 知的財産基本法案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、経済産業委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成214、反対19にて可決された。

散会 午前10時22分

○平成14年11月29日（金）

開会 午後2時1分

電気事業法及び核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の一部を改正する法律案及び独立行政法人原子力安全基盤機構法案（趣旨説明）

本件は、日程に追加し、平沼経済産業大臣から趣旨説明があった後、木俣佳丈君が質疑をした。

日程第1 独立行政法人北方領土問題対策協会法案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、沖縄及び北方問題に関する特別委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成130、反対88にて可決された。

日程第2 独立行政法人国際協力機構法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第3 独立行政法人国際交流基金法案（内閣提出、衆議院送付）

以上両案は、外交防衛委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成185、反対32にて可決された。

日程第4 法科大学院の教育と司法試験等との連携等に関する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第5 司法試験法及び裁判所法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

以上両案は、法務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成213、反対5にて可決された。

日程第6 平和祈念事業特別基金等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第7 独立行政法人通信総合研究所法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第8 地方公務員災害補償法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

以上3案は、総務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、日程第6は賛成129、反対88にて可決、日程第7は賛成131、反対84にて可決、日程第8は賛成189、反対29にて可決された。

散会 午後2時51分

○平成14年12月4日（水）

開会 午前10時1分

日程第1 建物の区分所有等に関する法律及びマンションの建替えの円滑化等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、国土交通委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成203、反対27にて可決された。

日程第2 有線電気通信法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、総務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成230、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第3 北朝鮮当局によって拉致された被害者等の支援に関する法律案（衆議院提出）

本案は、厚生労働委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成231、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第4 独立行政法人日本貿易振興機構法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第5 情報処理の促進に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第6 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第7 中小企業総合事業団法及び機械類信用保険法の廃止等に関する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第8 独立行政法人中小企業基盤整備機構法案（内閣提出、衆議院送付）

以上5案は、経済産業委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、日程第4、第6及び第7は賛成196、反対32にて可決、日程第5及び第8は賛成136、反対92にて可決された。

日程第9 農業取締法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、農林水産委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成232、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第10 自然再生推進法案（衆議院提出）

本案は、環境委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成201、反対29にて可決された。

散会 午前10時23分

○平成14年12月6日（金）

開会 午前10時1分

日程第1 公職選挙法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第2 地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律案（内閣提出、衆議院送付）

以上両案は、政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、日程第1は賛成219、反対19にて可決、日程第2は賛成239、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第3 放送大学学園法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第4 日本私立学校振興・共済事業団法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第5 独立行政法人日本スポーツ振興センター法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第6 独立行政法人日本芸術文化振興会法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第7 独立行政法人科学技術振興機構法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第8 独立行政法人日本学術振興会法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第9 独立行政法人理化学研究所法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第10 独立行政法人宇宙航空研究開発機構法案（内閣提出、衆議院送付）

以上8案は、文教科学委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、日程第3、第5、第6及び第9は賛成209、反対31にて可決、日程第4、第7、第8及び第10は賛成143、反対93にて可決された。

日程第11 会社更生法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第12 会社更生法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律案（内閣提出、衆議院送付）

以上両案は、法務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成214、反対25にて可決された。

日程第13 独立行政法人労働者健康福祉機構法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第14 独立行政法人福祉医療機構法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第15 独立行政法人労働政策研究・研修機構法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第16 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第17 中小企業退職金共済法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第18 独立行政法人雇用・能力開発機構法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第19 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第20 社会保険診療報酬支払基金法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

以上8案は、厚生労働委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、日程第13は賛成201、反対37にて可決、日程第14及び第16乃至第19は賛成207、反対31にて可決、日程第15は賛成143、反対94にて可決、日程第20は賛成197、反対40にて可決された。

散会 午前10時25分

○平成14年12月11日（水）

開会 午前10時2分

国家公務員等の任命に関する件

本件は、押しボタン式投票をもって採決の結果、
総合科学技術会議議員に薬師寺泰蔵君を任命することに、賛成203、反対26にて同意することに決し、
総合科学技術会議議員に大山昌伸君、
公安審査委員会委員に大川隆康君、藤村輝子君を任命することに、賛成212、反対19にて同意することに決し、
総合科学技術会議議員に阿部博之君、黒田玲子君、
電波監理審議会委員に安田靖彦君、井口武雄君、
日本放送協会経営委員会委員に石原邦夫君、高崎ゆかり君、菅原明子君、堀部政男君、
中央更生保護審査会委員に川崎道子君、福井厚士君、
労働保険審査会委員に来本笑子君、井上和子君、
社会保険審査会委員に加茂紀久男君、
運輸審議会委員に田島優子君を任命することに、賛成231、反対0にて全会一致をもって同意することに決し、
労働保険審査会委員に渡辺貞好君、白井国男君を任命することに、賛成223、反対7にて同意することに決し、
労働保険審査会委員に金平隆弘君を任命することに、賛成162、反対69にて同意することに決し、
社会保険審査会委員に沼田輝夫君を任命することに、賛成226、反対5にて同意することに決し、
公害健康被害補償不服審査会委員に近藤健文君、浅野楷悦君を任命することに、賛成227、反対2にて同意することに決した。

心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律案、裁判所法の一部を改正する法律案、検察庁法の一部を改正する法律案及び精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部を改正する法律案（趣旨説明）

本件は、日程に追加し、森山法務大臣、本院議員朝日俊弘君から順次趣旨説明があった後、江田五月君が質疑をした。

日程第1 平成11年度一般会計歳入歳出決算、平成11年度特別会計歳入歳出決算、平成11年度国税収納金整理資金受払計算書、平成11年度政府関係機関決算書

日程第2 平成12年度一般会計歳入歳出決算、平成12年度特別会計歳入歳出決算、平成12年度国税収納金整理資金受払計算書、平成12年度政府関係機関決算書

日程第3 平成11年度国有財産増減及び現在額総計算書

日程第4 平成11年度国有財産無償貸付状況総計算書

日程第5 平成12年度国有財産増減及び現在額総計算書

日程第6 平成12年度国有財産無償貸付状況総計算書

以上6件は、決算委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタ

ン式投票をもって採決の結果、日程第1及び第2はまず日程第1について賛成146、反対91にて委員長報告のとおり是認することに決し、次いで日程第2について賛成138、反対99にて委員長報告のとおり是認することに決し、次いで賛成237、反対0にて全会一致をもって委員長報告のとおり内閣に対し警告することに決し、日程第3は賛成209、反対27にて委員長報告のとおり是認することに決し、日程第4は賛成228、反対9にて委員長報告のとおり是認することに決し、日程第5は賛成207、反対30にて委員長報告のとおり是認することに決し、日程第6は賛成225、反対12にて委員長報告のとおり是認することに決した。

小泉内閣総理大臣は、本内閣に対する警告について所信を述べた。

日程第7 預金保険法及び金融機関等の更生手続の特例等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第8 金融機関等の組織再編成の促進に関する特別措置法案（内閣提出、衆議院送付）

以上両案は、財政金融委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつて、討論の後、押しボタン式投票をもって採決の結果、日程第7は賛成134、反対101にて可決、日程第8は賛成140、反対96にて可決された。

日程第9 農水産業協同組合貯金保険法及び農水産業協同組合の再生手続の特例等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、農林水産委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつた後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成141、反対95にて可決された。

日程第10 日本放送協会平成11年度財産目録、貸借対照表及び損益計算書並びにこれに関する説明書

日程第11 日本放送協会平成12年度財産目録、貸借対照表及び損益計算書並びにこれに関する説明書

以上両件は、総務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつた後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成234、反対0にて全会一致をもって委員長報告のとおり是認することに決した。

日程第12 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第13 独立行政法人国際観光振興機構法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第14 独立行政法人水資源機構法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第15 日本下水道事業団法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第16 日本勤労者住宅協会法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第17 東京地下鉄株式会社法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第18 独立行政法人自動車事故対策機構法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第19 公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第20 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

以上9案は、国土交通委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつた後、押しボタン式投票をもって採決の結果、日程第12、第13、第16及び第18乃至第20は賛成138、

反対95にて可決、日程第14は賛成134、反対99にて可決、日程第15は賛成136、反対96にて可決、日程第17は賛成201、反対32にて可決された。

日程第21 構造改革特別区域法案（内閣提出、衆議院送付）

日程第22 特定非営利活動促進法の一部を改正する法律案（衆議院提出）

以上両案は、内閣委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、日程第21は賛成200、反対34にて可決、日程第22は賛成234、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第23 戸籍法の一部を改正する法律案（衆議院提出）

本案は、法務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成234、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第24 電気事業法及び核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第25 独立行政法人原子力安全基盤機構法案（内閣提出、衆議院送付）

以上両案は、経済産業委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、日程第24は賛成207、反対26にて可決、日程第25は賛成196、反対39にて可決された。

散会 午後0時15分

○平成14年12月13日（金）

開会 午前10時2分

日程第1 独立行政法人国立病院機構法案（第154回国会内閣提出、第155回国会衆議院送付）

日程第2 独立行政法人医薬品医療機器総合機構法案（内閣提出、衆議院送付）

以上両案は、厚生労働委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、日程第1は賛成198、反対42にて可決、日程第2は賛成136、反対104にて可決された。

日程第3乃至第14の請願

本請願は、文教科学委員長外3委員長の報告を省略し、全会一致をもって各委員会決定のとおり採択することに決した。

委員会及び調査会の審査及び調査を閉会中も継続するの件

本件は、法務委員会の人権擁護法案（第154回国会閣法第56号）、心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律案（第154回国会閣法第79号）、裁判所法の一部を改正する法律案（参第8号）、検察庁法の一部を改正する法律案（参第9号）及び精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部を改正する法律案（参第10号）について委員会の審査を閉会中も継続することに決し、次の案件について委員会及び調査会の審査及び調査を閉会中も継続することに全会一致をもって決した。

内閣委員会

一、内閣の重要政策及び警察等に関する調査

総務委員会

- 一、行政制度、公務員制度、地方行財政、選挙、消防、情報通信及び郵政事業等に関する調査

法務委員会

- 一、法務及び司法行政等に関する調査

外交防衛委員会

- 一、外交、防衛等に関する調査

財政金融委員会

- 一、財政及び金融等に関する調査

文教科学委員会

- 一、教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関する調査

厚生労働委員会

- 一、社会保障及び労働問題等に関する調査

農林水産委員会

- 一、農林水産に関する調査

経済産業委員会

- 一、下請代金支払遅延等防止法の一部を改正する法律案（第154回国会参第5号）
- 一、経済、産業、貿易及び公正取引等に関する調査

国土交通委員会

- 一、国土の整備、交通政策の推進等に関する調査

環境委員会

- 一、環境及び公害問題に関する調査

予算委員会

- 一、予算の執行状況に関する調査

決算委員会

- 一、国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査

行政監視委員会

- 一、行政監視、行政評価及び行政に対する苦情に関する調査

議院運営委員会

- 一、議院及び国立国会図書館の運営に関する件

災害対策特別委員会

- 一、災害対策樹立に関する調査

沖縄及び北方問題に関する特別委員会

- 一、沖縄及び北方問題に関しての対策樹立に関する調査

国会等の移転に関する特別委員会

- 一、国会等の移転に関する調査

金融問題及び経済活性化に関する特別委員会

- 一、金融問題及び経済活性化に関する調査

政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会

- 一、政治倫理の確立及び選挙制度に関する調査

国際問題に関する調査会

一、国際問題に関する調査

国民生活・経済に関する調査会

一、国民生活・経済に関する調査

共生社会に関する調査会

一、共生社会に関する調査

常任委員長辞任の件

本件は、議院運営委員長山崎正昭君の辞任を許可することに決した。

常任委員長の選挙

本選挙は、その手続を省略して議長の指名によることに決し、議長は、議院運営委員長に宮崎秀樹君を指名した。

議長は、今国会の議事を終了するに当たり挨拶をした。

休憩 午前10時14分

再開するに至らなかった。